

令和8年度(2026年度)

東京富士大学大学院 経営学研究科

一般入学試験 I 期

論 文

<注意>

1. この冊子には、問題文(2枚)が綴じてあります。
2. 試験開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
3. 問題用紙・解答用紙の表紙にある受験番号、氏名欄を必ず記入下さい。
4. 解答は「横書き」「日本語」で記入のこと。
5. 原則として、この冊子は交換しませんので、注意して扱って下さい。
6. 試験終了後、この冊子と解答用紙の両方を回収します。

受験番号	氏名

次の問題 1 から 8 の中から 2 問を選択し所定の用紙(400 字)に解答しなさい。
また、選択した問題番号を○で囲みなさい。

問題 1. テイラーシステムとは何かを簡潔に説明した上で、製造業においてテイラーシステムが応用されていると考えられる事例を一つ取り上げ、どのように応用されていると思われるかを記述しなさい。

問題 2. マーケティングの基本フレームワークである「4P」について、それぞれの要素 (Product, Price, Place, Promotion) を説明しなさい。その上で、あなたが知っている身近な製品やサービスを 1 つ選び、そのマーケティング戦略がどのように 4P に当てはまるかを具体的に述べなさい。

問題 3. カーボンニュートラルに向けた取り組みは、企業の事業構造や技術革新を促し、新たな競争優位性を生み出す可能性がある。この観点から、脱炭素化が企業にもたらすイノベーションの可能性 (例：新技術、新ビジネスモデル、プロセス改善など) について具体的に述べなさい。

問題 4. 予測が困難な時代に入っているが、長く企業を存続させるには、強固な組織の基盤づくりが重要である。
バーナードが提唱した「組織の 3 つの要素」について述べ、自分が活動してきた仕事やスポーツ活動などでの組織づくりの経験を織り込んで説明せよ。

問題5. 所得税における事業所得と給与所得の相違点とその判断基準について実例を挙げて説明せよ.

問題6. 法人税法における所得金額の算定方法について説明せよ.

問題7. 以下の(1) (2) (3)に答えなさい。

(1) 企業会計基準第9号『棚卸資産の評価に関する会計基準』における「通常の販売目的で保有する棚卸資産」に対する原則的な評価基準について説明するとともに、(2) そのような処理が求められる理由を説明しなさい。

また、前期に計上した簿価切下額の戻入れに関して、「売価の下落要因を区分把握できる場合には、物理的劣化や経済的劣化、若しくは市場の需給変化の要因ごとに選択適用できる。」(para. 14)とされている。そこで、(3) いずれの発生原因の場合に、「洗替え法」あるいは「切放し法」が適用できると考えられるのか、(a)発生原因、(b)棚卸資産の状態、(c)売価の回復可能性に触れながら答えなさい。

問題8. 財務諸表監査の目的と監査要点並びに監査証拠の関係性について述べなさい。さらに、6つの監査要点をそれぞれ簡潔に説明しなさい。